

鳥取県と吉林省の友好交流 15 周年目の夏

鳥取県と中国吉林省が友好交流をはじめて、今年で 15 年の節目を迎えました。(吉林省は鳥根県、韓国江原道とも今年で 15 周年になります。)

この夏、友好交流 15 周年を記念して、吉林省長春市では 2 つのイベントが開催されました。

まず、7 月 4 日(土)、5 日(日)の 2 日間をかけて「日中韓国際文化美食祭」が、つい先日の 8 月 13 日(木)、14 日(金)には「日中韓青少年卓球大会」が開催されました。

まず、「日中韓国際文化美食祭」からご紹介します。

この祭典は、交流地域の文化や料理を吉林省のより多くの方々に知ってもらうことを目的として開催され、会場内には長春市内にある日中韓の各料理店や各交流地域のブースが並び、ステージ上では各地域の伝統芸能の公演などが行われました。



鳥取県ブースの様子

鳥取県もブースを出展し、鳥取カレーの試食や民芸品などの展示を行って鳥取県を PR するとともに、ステージ上では倉吉農業高校の生徒が迫力のある和太鼓を演奏して、会場を大いに盛り上げました。

鳥取県のブースには、日本へ行ったことがある人や現在日本語を勉強中の学生、自分は日本語が話せないけど子供が日本で働いている人など、数多くの日本に関心のある方々が来られました。

観光パンフレットを見ながら「今度日本に行く時には、ぜひ鳥取県にも行ってみたい」との言葉も。通りすがりの中国人の皆さんも鳥取の工芸品に興味をもたれたようで「なぜ売ってないんだ、売ってくれ」とか「長春のどこで売っているのか？」などの要望・質問が後を絶ちませんでした。ただ、値段を言うと「高すぎる！買えない」と驚かれる方が多かったのも事実です。

鳥取県に対する認知度は、私が思っていた以上にまだまだ低いと言わざるを得ませんが、今回の祭典を通して「鳥取県は吉林省が 15 年も前から友好交流している地域だ」という事実を来場した多くの中国人が知ったのではないのでしょうか。



素揚げを待つ昆虫たち。揚げるのは注文を受けてから。

余談ですが、会場内に昆虫等の素揚げをしているブースを発見しました。サソリ、ムカデ？、蜘蛛、蚕、バッタ？、イモリ？、タツノオトシゴなどが陳列されてました。私は勇気がなくて食べなかったのですが、まわりの多くの中国人も私と同様に店の前で見るだけで、実際に購入して食べている人は極わずかでした。

さて、先日の「日中韓青少年卓球大会」では、各地域の中学生が一堂に会し、卓球の交流試合を行いました。

鳥取県の選抜チームも全力を尽くして戦いましたが、やはり中国は強かったです。

男女ともに団体戦・個人戦に優勝した強さは、「さすがは卓球大国、中国」と言わしめる内容でした。

しかし、今回訪中した生徒にとって、同世代の各国の選手と対戦したことはもちろん、中国文化に触れあえたことも大きな経験になったのではないかなと思います。

吉林省では2つの交流イベントが終わりましたが、10月に鳥取県で開催される「日本のまつり」には吉林省の芸能団も出演します。鳥取県の皆様も、ぜひこの機会に交流地域の伝統芸能をご覧ください。

(2009.08 中国吉林省派遣 金田 健志)